

2020年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：産業組織論特論	
担当教員名：小寺 俊樹	
<p>授業科目概要：</p> <p>産業組織論は、企業が市場でどのように行動するのか、市場を効率的にするにはどのような政策をとればよいのか、といった問題を考える実践的な分野である。この授業では、学生が関心ある企業の行動を考察できるよう、理論分析の手法について学ぶ。</p>	
<p>履修上の留意事項：</p> <p>産業組織論はミクロ経済学の応用分野であるため、ミクロ経済学を理解したうえで履修することが大変望ましい。また、計量経済学や統計学の知識があると有用であるが必須ではない。</p>	
教科書・参考書（参考文献）	
<p>書名：産業組織とビジネスの経済学</p> <p>著者／編者：花崗 誠</p> <p>出版社：有斐閣</p> <p>出版年：2018</p>	<p>書名：</p> <p>著者／編者：</p> <p>出版社：</p> <p>出版年：</p>
<p>書名：Industrial Organization: Markets and Strategies</p> <p>著者／編者：Paul Belleflamme and Martin Peitz</p> <p>出版社：Cambridge University Press</p> <p>出版年：2015</p>	<p>書名：</p> <p>著者／編者：</p> <p>出版社：</p> <p>出版年：</p>
<p>書名：</p> <p>著者／編者：</p> <p>出版社：</p> <p>出版年：</p>	<p>書名：</p> <p>著者／編者：</p> <p>出版社：</p> <p>出版年：</p>
<p>評価方法及び判定基準：</p> <p>授業での貢献、報告、およびレポートや課題の状況を総合的に判断し評価する。</p>	
<p>授業目標及び進め方：</p> <p>授業の目標は2点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 産業組織論の理論分析モデルを理解する。 2. 現実の企業行動を自ら分析できるようになる。 <p>授業の進め方として、まず産業組織論の基本的な理論モデルを学習した後、学生が興味ある分野を選択し文献の調査、報告をする。ただし、学生の知識や興味関心によって調整する。</p>	

第1回	テーマ：イントロダクション 内 容：授業の概要について 教科書／参考書
第2回	テーマ：企業の行動 内 容：完全競争市場における企業行動 教科書／参考書
第3回	テーマ：企業の行動 内 容：独占企業の行動 教科書／参考書
第4回	テーマ：価格競争 内 容：Bertrandモデル 教科書／参考書
第5回	テーマ：数量競争 内 容：Cournotモデル 教科書／参考書
第6回	テーマ：価格競争と数量競争 内 容：キャパシティ制約と価格競争 教科書／参考書
第7回	テーマ：価格戦略 内 容：第1種価格差別 教科書／参考書
第8回	テーマ：価格戦略 内 容：第3種価格差別 教科書／参考書
第9回	テーマ：価格戦略 内 容：第2種価格差別 教科書／参考書
第10回	テーマ：価格戦略 内 容：耐久財独占 教科書／参考書
第11回	テーマ：価格戦略 内 容：バンドリング 教科書／参考書
第12回	テーマ：製品差別化 内 容：水平的製品差別化 教科書／参考書
第13回	テーマ：製品差別化 内 容：垂直的製品差別化 教科書／参考書
第14回	テーマ：広告 内 容：広告 教科書／参考書
第15回	テーマ：全体のまとめ 内 容： 教科書／参考書